



各 位

会 社 名 株式会社シイエム・シイ
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐々 幸恭
 (JASDAQ・コード2185)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 常務執行役員
 経営企画室担当 田島 龍司
 TEL (052) 322-3386

業績予想との差異に関するお知らせ

平成 26 年 11 月 10 日に公表いたしました平成 27 年 9 月期第 2 四半期累計期間(平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)の連結業績予想および個別業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 9 月期第 2 四半期累計期間(平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)の業績予想との差異

(1) 連結業績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	8,022	473	495	302	円 銭 130.58
今回実績 (B)	8,595	896	940	534	230.96
増減額 (B-A)	+572	+423	+444	+232	—
増減率 (%)	+7.1%	+89.4%	+89.8%	+77.0%	—
(ご参考)前年同期実績 平成 26 年 9 月期第 2 四半期	8,119	715	757	481	213.38

(2) 個別業績

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	5,109	408	253	円 銭 109.33
今回実績 (B)	5,608	802	481	208.07
増減額 (B-A)	+498	+394	+228	—
増減率 (%)	+9.8%	+96.5%	+90.4%	—
(ご参考)前年同期実績 平成 26 年 9 月期第 2 四半期	5,281	597	407	180.50

(3) 差異の理由

各利益項目の差異は、売上高の増加ならびに売上総利益率の向上と販管費の節減によるものであります。売上総利益率の向上につきましては、個別案件ごとの生産効率を高める原価低減努力が進捗したこと、不採算案件の縮小などが、その要因として挙げられます。

販管費の節減につきましては、案件の受注確度の向上により、営業活動への投入コストを抑えられたことが主因であります。また、消耗品の購入や移動にかかる費用など、諸経費が節減できたことも要因として挙げられます。

上記は、単体において特に顕著な傾向であり、また連結業績にも強く影響しているものであります。

以 上